



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

定時株主総会開催予定日 2019年6月25日

配当支払開始予定日

2019年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	17,065	2.3	815	19.8	813	22.8	523	23.6
2018年3月期	17,459	2.4	1,016	31.8	1,053	31.0	685	33.4

(注) 包括利益 2019年3月期 518百万円 (23.8%) 2018年3月期 680百万円 (26.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	152.42		6.7	7.6	4.8
2018年3月期	197.03		9.4	10.4	5.8

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	10,677	7,981	74.7	2,331.49
2018年3月期	10,591	7,597	71.7	2,194.08

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,981百万円 2018年3月期 7,597百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	646	79	145	4,426
2018年3月期	1,310	293	94	4,005

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		11.00	11.00	38	5.6	0.5
2019年3月期		0.00		10.00	10.00	34	6.6	0.4
2020年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		6.2	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,436	0.0	347	9.1	357	8.2	232	12.3	67.84
通期	17,401	2.0	824	1.1	845	4.0	552	5.6	161.45

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	4,216,000 株	2018年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	792,698 株	2018年3月期	753,439 株
期中平均株式数	2019年3月期	3,433,202 株	2018年3月期	3,478,026 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	15,995	2.4	758	21.3	757	24.1	486	25.0
2018年3月期	16,392	3.3	963	31.3	998	30.6	649	33.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	141.84	
2018年3月期	186.80	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年3月期	9,940		7,751		78.0	2,264.33		
2018年3月期	9,909		7,402		74.7	2,137.75		

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,751百万円 2018年3月期 7,402百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	7,947	0.5	337	9.6	220	13.7	64.32	
通期	16,138	0.9	780	3.0	511	5.1	149.50	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、度重なる地震、台風等の自然災害の影響があったものの、企業収益や雇用環境の改善に伴い、緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、中国経済の減速や米国の強硬な通商・外交政策による貿易摩擦の激化が懸念されるなど、世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、相次ぐ地震や台風等の災害の影響により、公共工事や設備投資が減少しているものの、個人消費は持ち直しの動きがみられ、雇用情勢も着実に改善しております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度の改革が進められており、診療報酬の改定による技術料及び薬価の引き下げの影響等、当社グループを取り巻く経営環境の厳しさは継続しております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高17,065百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益815百万円（同19.8%減）、経常利益813百万円（同22.8%減）及び親会社株主に帰属する当期純利益523百万円（同23.6%減）と売上高、利益共に前年同期を下回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、全般的に顧客との取引が堅調に推移したことに加え、新規に顧客を獲得したことから、売上高5,805百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益336百万円（同17.1%増）前年同期を上回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、調剤薬局を新規に2店舗開局いたしました。診療報酬の改定により技術料及び薬価の引き下げの影響により、売上高10,364百万円（同5.3%減）、セグメント利益772百万円（同26.3%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の販売・貸与が前年同期を上回りましたが、大型備品の販売が前年同期を下回ったことから、売上高798百万円（同0.8%減）となりました。利益面におきましては、セグメント利益4百万円（同57.3%増）と前年同期を上回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高97百万円（同35.5%増）、セグメント利益74百万円（同48.7%増）になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

区分	当期	前期	増減
総資産（百万円）	10,677	10,591	86
純資産（百万円）	7,981	7,597	384
自己資本比率（%）	74.7	71.7	3.0
1株当たり純資産（円）	2,331.49	2,194.08	137.41

当連結会計年度末における資産総額は、前年同期末に比し86百万円増加し10,677百万円（前年同期末比0.8%増）となりました。

流動資産は前年同期末に比し351百万円増加し7,762百万円（同4.7%増）となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が114百万円減少しましたが、現金及び預金が421百万円及び商品が60百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は前年同期末に比し265百万円減少し2,915百万円（同8.3%減）となりました。

主な要因は、建物及び構築物が85百万円増加しましたが、工具、器具及び備品が148百万円、土地が135百万円及び建設仮勘定が74百万円それぞれ減少したことによるものです。

当連結会計年度末における負債総額は、前年同期末に比し297百万円減少し2,696百万円（同9.9%減）となりました。

流動負債は前年同期末に比し298百万円減少し2,430百万円（同10.9%減）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金が202百万円及び未払法人税等が96百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前年同期末に比し0百万円増加し265百万円（同0.1%増）となりました。

主な要因は、長期未払金が7百万円減少しましたが、役員退職慰労引当金が7百万円増加したことによるものです。

純資産は前年同期末に比し384百万円増加し7,981百万円（同5.1%増）となりました。また、自己資本比率につきましては、前年同期末比3.0%増加し74.7%となり、1株当たり純資産につきましては、前年同期末比137円41銭増加し、2,331円49銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

区分	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	646	1,310	△663
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△79	△293	213
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△145	△94	△50
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	421	922	△500
現金及び現金同等物期末残高（百万円）	4,426	4,005	421

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー646百万円の資金増加、投資活動によるキャッシュ・フロー79百万円の資金減少及び財務活動によるキャッシュ・フロー145百万円の資金減少の結果、資金は421百万円増加し4,426百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

当連結会計年度における各連結キャッシュ・フローの状況と増減要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、646百万円（同50.6%減）となり、前年同期に比し663百万円減少いたしました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益818百万円（同234百万円減）、減価償却費308百万円（同33百万円減）及び売上債権の減少による増加114百万円（前年同期は42百万円の減少）がありましたが、法人税等の支払額379百万円（前年同期比191百万円増）、仕入債務の減少額167百万円（同162百万円増）、有形固定資産売却損益74百万円（同73百万円増）及びたな卸資産の増加による減少57百万円（前年同期は63百万円の増加）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は、79百万円（前年同期比72.8%減）となり、前年同期に比し213百万円減少いたしました。

主な要因は、有形固定資産売却による収入216百万円（同191百万円増）がありましたが、有形固定資産の取得による支出243百万円（同57百万円減）及び投資有価証券の取得による支出42百万円（同41百万円増）であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、145百万円（同53.3%増）となり、前年同期に比し50百万円増加いたしました。

主な要因は、自己株式の取得による支出96百万円（同63百万円増）、配当金の支払額38百万円（同3百万円増）及びリース債務返済による支出11百万円（同3百万円減）であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第52期 2016年3月期	第53期 2017年3月期	第54期 2018年3月期	第55期 2019年3月期
自己資本比率 (%)	67.9	71.8	71.7	74.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	41.4	44.5	73.6	63.2
債務償還年数 (年)	0.1	0.1	0.0	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	457.3	421.9	833.9	403.0

(注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 債務償還年数 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）より算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調が続くことが予想されますが、米中の貿易摩擦等の通商問題の動向、英国のEU離脱問題、消費増税による国内消費の低迷等先行きは依然として不透明な状況が続くと予想されます。

医療業界につきましては、継続的な医療費抑制政策により引き続き厳しい経営環境となりますが、企業収益の基盤強化を図るため、新規取引先の獲得及び薬局店舗の新規出店等による営業基盤の拡充を進めると共に、業務の効率化に取り組んでまいります。また、中長期的な展望にたち更なる収益基盤の拡充に向け、継続的な設備投資をはじめ、人材の確保・育成等を進めてまいります。

これらにより、当社グループ全体での2020年3月期の連結業績予想は、売上高は17,401百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益824百万円（同1.1%増）、経常利益845百万円（同4.0%増）及び親会社株主に帰属する当期純利益552百万円（同5.6%増）の見通しといたしました。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分につきましては、中長期戦略を踏まえ、経営基盤の強化及び将来の事業展開につながる内部留保金の確保、株主の皆様への安定した配当の実現を基本としております。

当期の配当につきましては、診療報酬の改定による技術料及び薬価の引き下げの影響から、前期の業績を大きく下回ったため、厳しい経営環境及び中長期的な事業展開による投資等を総合的に勘案し、1株につき10円とする予定であります。内部留保金につきましては、収益力の一層の向上を図るため、業容拡大及び設備投資等の資金に充当する方針でございます。

また、次期の配当につきましても、引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されますが、中長期的な投資計画の実施継続に加えて本社機能の拡充を目的とした大きな投資が見込まれることから、内部留保の充実を優先させ10円配当とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,056,776	4,477,997
受取手形及び売掛金	2,767,112	2,652,462
商品及び製品	464,636	525,110
仕掛品	7,742	8,128
原材料及び貯蔵品	56,626	53,651
その他	89,189	76,917
貸倒引当金	△31,883	△32,121
流動資産合計	7,410,199	7,762,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,075,665	2,192,998
減価償却累計額	△1,296,462	△1,327,919
建物及び構築物 (純額)	779,203	865,079
機械装置及び運搬具	36,673	39,412
減価償却累計額	△33,211	△32,077
機械装置及び運搬具 (純額)	3,461	7,334
工具、器具及び備品	2,767,694	2,632,371
減価償却累計額	△2,333,265	△2,346,918
工具、器具及び備品 (純額)	434,429	285,453
土地	1,052,372	916,894
リース資産	65,040	65,093
減価償却累計額	△29,406	△30,949
リース資産 (純額)	35,633	34,144
建設仮勘定	74,320	—
有形固定資産合計	2,379,421	2,108,906
無形固定資産		
その他	83,894	53,566
無形固定資産合計	83,894	53,566
投資その他の資産		
投資有価証券	132,901	164,513
長期貸付金	—	353
長期前払費用	32,413	30,071
差入保証金	252,121	257,326
繰延税金資産	172,057	169,467
その他	145,177	148,279
貸倒引当金	△17,040	△17,091
投資その他の資産合計	717,631	752,921
固定資産合計	3,180,947	2,915,394
資産合計	10,591,147	10,677,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066,895	1,864,733
リース債務	10,831	10,604
未払法人税等	241,970	145,825
賞与引当金	114,997	116,545
未払金	99,660	96,849
資産除去債務	2,900	—
その他	191,886	196,404
流動負債合計	2,729,142	2,430,963
固定負債		
リース債務	29,229	28,112
役員退職慰労引当金	68,165	75,870
退職給付に係る負債	19,548	20,831
長期未払金	140,994	133,716
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,930	4,668
固定負債合計	264,869	265,199
負債合計	2,994,012	2,696,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,109,905	6,595,116
自己株式	△537,007	△633,162
株主資本合計	7,571,518	7,960,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,617	20,802
その他の包括利益累計額合計	25,617	20,802
純資産合計	7,597,135	7,981,377
負債純資産合計	10,591,147	10,677,540

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	17,459,961	17,065,603
売上原価	12,085,593	11,866,989
売上総利益	5,374,368	5,198,613
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	474
役員報酬	116,880	119,280
給料手当及び賞与	2,083,149	2,112,669
賞与引当金繰入額	81,071	82,472
退職給付費用	21,208	20,901
役員退職慰労引当金繰入額	7,556	7,771
法定福利費	341,905	348,834
賃借料	61,181	60,086
地代家賃	311,599	330,473
消耗品費	132,083	123,204
減価償却費	128,188	127,151
租税公課	495,139	471,172
その他	577,418	578,707
販売費及び一般管理費合計	4,357,384	4,383,198
営業利益	1,016,984	815,415
営業外収益		
受取利息	723	561
受取配当金	3,192	5,121
受取賃貸料	45,451	50,288
受取保険料	1,284	1,455
受取事務手数料	9,367	3,427
助成金収入	5,771	—
貸倒引当金戻入額	3,424	—
その他	13,981	12,230
営業外収益合計	83,197	73,085
営業外費用		
支払利息	1,582	1,604
賃貸収入原価	43,695	50,743
契約解約損	—	15,000
その他	1,504	7,986
営業外費用合計	46,782	75,334
経常利益	1,053,398	813,167
特別利益		
固定資産売却益	1,233	76,562
特別利益合計	1,233	76,562
特別損失		
固定資産売却損	—	1,799
固定資産除却損	609	753
会員権評価損	—	50
減損損失	1,737	68,964
特別損失合計	2,346	71,567
税金等調整前当期純利益	1,052,286	818,162
法人税、住民税及び事業税	333,374	287,047
法人税等調整額	33,622	7,815
法人税等合計	366,997	294,863
当期純利益	685,288	523,299
親会社株主に帰属する当期純利益	685,288	523,299

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	685,288	523,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,926	△4,814
その他の包括利益合計	△4,926	△4,814
包括利益	680,362	518,485
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	680,362	518,485
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	5,459,411	△504,653	6,953,377
当期変動額					
剰余金の配当			△34,794		△34,794
親会社株主に帰属する当期純利益			685,288		685,288
自己株式の取得				△32,354	△32,354
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	650,494	△32,354	618,140
当期末残高	983,350	1,015,270	6,109,905	△537,007	7,571,518

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	30,543	30,543	6,983,921
当期変動額			
剰余金の配当			△34,794
親会社株主に帰属する当期純利益			685,288
自己株式の取得			△32,354
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,926	△4,926	△4,926
当期変動額合計	△4,926	△4,926	613,213
当期末残高	25,617	25,617	7,597,135

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	6,109,905	△537,007	7,571,518
当期変動額					
剰余金の配当			△38,088		△38,088
親会社株主に帰属する当期純利益			523,299		523,299
自己株式の取得				△96,154	△96,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	485,211	△96,154	389,056
当期末残高	983,350	1,015,270	6,595,116	△633,162	7,960,574

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	25,617	25,617	7,597,135
当期変動額			
剰余金の配当			△38,088
親会社株主に帰属する当期純利益			523,299
自己株式の取得			△96,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,814	△4,814	△4,814
当期変動額合計	△4,814	△4,814	384,241
当期末残高	20,802	20,802	7,981,377

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,052,286	818,162
減価償却費	342,058	308,629
減損損失	1,737	68,964
会員権評価損	—	50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,032	1,282
賞与引当金の増減額(△は減少)	△360	1,548
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,707	239
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,491	7,705
受取利息及び受取配当金	△3,916	△5,683
支払利息	1,582	1,604
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,233	△74,763
有形固定資産除却損	609	753
預り保証金の増減額(△は減少)	—	△262
売上債権の増減額(△は増加)	△42,126	114,649
たな卸資産の増減額(△は増加)	63,851	△57,885
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,322	△167,310
長期前払消費税等の増減額(△は増加)	△654	364
未収消費税等の増減額(△は増加)	37,079	2,272
その他の資産・負債の増減額	45,382	2,309
小計	1,496,789	1,022,631
利息及び配当金の受取額	3,419	5,316
利息の支払額	△1,571	△1,604
法人税等の支払額	△188,449	△379,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,310,188	646,657
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△300,409	△243,167
有形固定資産の売却による収入	24,993	216,510
無形固定資産の取得による支出	△15,583	△4,568
無形固定資産の売却による収入	—	939
長期貸付けによる支出	—	△360
長期貸付金の回収による収入	3,497	6
投資有価証券の取得による支出	△594	△42,152
資産除去債務の履行による支出	—	△1,000
その他	△4,970	△6,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,066	△79,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△13,316	—
リース債務の返済による支出	△14,469	△11,264
自己株式の取得による支出	△32,354	△96,154
配当金の支払額	△34,850	△38,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,989	△145,597
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	922,131	421,218
現金及び現金同等物の期首残高	3,083,629	4,005,761
現金及び現金同等物の期末残高	4,005,761	4,426,980

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」78,650千円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」172,057千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として病院等の診療に必要な臨床検査の受託業務を行う「臨床検査事業」と、調剤薬局店舗を運営する「調剤薬局事業」及び高度医療機器から一般医療機器、理化学機器等の販売並びに保守を行う「医療機器販売・保守事業」の3事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,641,226	10,942,233	804,800	17,388,259	71,701	17,459,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	654,912	654,912	1,047	655,959
計	5,641,226	10,942,233	1,459,713	18,043,172	72,748	18,115,921
セグメント利益	287,232	1,048,590	3,011	1,338,834	50,047	1,388,881
セグメント資産	2,109,743	3,703,014	719,369	6,532,127	11,724	6,543,851
その他の項目						
減価償却費(注)	222,745	102,199	7,597	332,542	232	332,774
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	174,091	224,005	—	398,097	515	398,612

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,805,724	10,364,421	798,307	16,968,453	97,150	17,065,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	644,394	644,394	755	645,150
計	5,805,724	10,364,421	1,442,702	17,612,848	97,906	17,710,754
セグメント利益	336,482	772,796	4,737	1,114,015	74,428	1,188,444
セグメント資産	2,130,221	3,526,445	701,009	6,357,676	10,899	6,368,575
その他の項目						
減価償却費(注)	187,467	105,310	5,865	298,644	137	298,781
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	84,207	126,239	5,948	216,395	—	216,395

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	18,043,172	17,612,848
「その他」の区分の売上高	72,748	97,906
セグメント間取引消去	△655,959	△645,150
連結財務諸表の売上高	17,459,961	17,065,603

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,338,834	1,114,015
「その他」の区分の利益	50,047	74,428
セグメント間取引消去	12,048	12,011
全社費用(注)	△383,945	△385,040
連結財務諸表の営業利益	1,016,984	815,415

(注) 「全社費用」の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,532,127	6,357,676
「その他」の区分の資産	11,724	10,899
セグメント間消去	△159,932	△112,046
全社資産(注)	4,207,228	4,421,010
連結財務諸表の資産合計	10,591,147	10,677,540

(注) 「全社資産」の主なものは、当社での余剰資金、長期投資資金等に係る資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	332,542	298,644	232	137	9,284	9,848	342,058	308,629
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	398,097	216,395	515	—	△957	6,490	397,655	222,886

(注) 「減価償却費」には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	1,737	—	—	—	1,737

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	34,515	—	—	34,448	68,964

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,194円08銭	1株当たり純資産額	2,331円49銭
1株当たり当期純利益金額	197円03銭	1株当たり当期純利益金額	152円42銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	685,288	523,299
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	685,288	523,299
期中平均株式数 (千株)	3,478	3,433